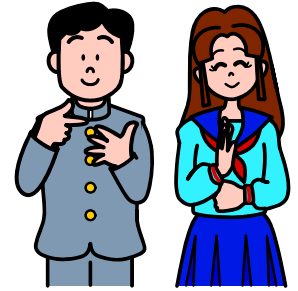


10. 思春期の心と身体、異性と性

思春期は心と体が急に变化していきます

個人差があるのは当然ですが、変化していく自分への関心と受け入れたくない気持ちの中で不安と葛藤が生まれます。自分を見つめすぎるあまり悩み考えるこの時期こそ、話を流さず、時間をつくって正面から子どもの悩み受け止めてあげてください。

多い悩み→性格、異性交際、同性・異性友人関係、身長、体重、容姿、勉強など



自分を発見する時期です

思春期に二次性徴が現れることにより、子どもたちは「男性」「女性」を自覚する時期を迎えます。性的に急速に成長するなかで不安をかかえて揺れている子どもの心を大人が受け止め、一緒に考えてあげることによって子どもは自分を見つめる直すことができます。また、子どもを信じ守る姿勢を見せながらも、“ここぞ”と言う時には親として毅然と注意する態度を持ち続けてほしいと思います。



異性との交際にあこがれる時期です

異性への興味・関心が高まり、相手の関心を引くために目立った行動やおしゃれ、逆に異性を避けるなど極端な行動をとる時期です。男性と女性の心と体の違いを知り、お互いを対等な人間として思いやる気持ちを育てるがことで「男性」「女性」としての誇りを持つことができるようになります。

性情報に惑わされないよう子どもを守りたい

大人の想像以上に子どもたちは携帯電話や雑誌、インターネットなどを通じてたくさんの情報に惑わされ、トラブルに巻き込まれるケースが増えています。正しい知識なのか、今の自分にとってプラスか否かを判断させるためにも、ニュース等の機会を使い大人が性情報のとらえ方や情報の選び方を教えましょう。将来の性への考え方が決まる大事な情報です。間違った情報が望まない妊娠、中絶や不妊、デートDVにつながると思われます。

性感染症の危険性を、真剣に考えましょう

性感染症とは、性交（性的接触も含まれます）によって感染する病気のことです。最近では症状がないことが多く、治りにくい感染症が増え、現在女性の性感染症の第一位はクラミジア感染症です。クラミジアに感染していると他の性感染症や HIV の感染率も飛躍的に高くなります。10代でクラミジアに感染しても気がつかないうちに進行することが多いので、将来パートナーや出産児に感染させることもあります。間違った性知識、安易な行動が10代の性感染症の増加につながっているといわれています。気づかぬうちに相手に病気をうつしてしまう危険性だけでなく、男女とも不妊の原因となることがあり軽視できません。心も体も揺れ動く思春期の子どもたちが正しい行動が選択できるよう、私たち大人がしっかり見守っていきましょう。